



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 アディッシュ株式会社  
 コード番号 7093 URL <https://www.adish.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 江戸 浩樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松田 光希

TEL 03-6869-3777

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,373		18		13		5	
2019年12月期第2四半期								

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 6百万円 ( %) 2019年12月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	3.70	3.35
2019年12月期第2四半期		

(注) 1. 当社は、2019年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の数値及び2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,135	592	52.2
2019年12月期	808	280	34.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 592百万円 2019年12月期 280百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	12.0	51	60.8	50	63.0	35	62.0	20.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(8月12日)公表いたしました「2020年12月期第2四半期連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	1,767,900 株	2019年12月期	1,435,900 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	47 株	2019年12月期	0 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	1,588,446 株	2019年12月期2Q	1,435,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループにおきましては、「つながりを常によろこびに (Delight in Every Connection)」というミッションの下、カスタマーサポートサービス「ソーシャルアプリサポート」及び24時間365日体制の投稿モニタリングサービス「インターネットモニタリング」の二サービスを軸に、カスタマーソリューション事業を引き続き展開しております。

新規の取り組みとしては、withコロナ時代の新サービスとして、新型コロナウイルス感染症等のデマ情報発生に対する企業リスク低減を目的とした「デマ特化ソーシャルリスニングサービス」、小学校・中学校・高校の生徒・教職員・保護者がオンラインでインターネットリテラシー講座やICT教育等を学ぶことのできる「オンライン講演サービス」の提供を開始いたしました。また、TwitterやInstagram等のSNSにおいて発生する誹謗中傷行為に対する対策として、「個人向け誹謗中傷対策サービス」の提供を開始いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,373,283千円、営業利益18,766千円となりました。また、東京証券取引所マザーズへの上場に伴う上場関連費用10,155千円が発生した結果、経常利益は13,131千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,876千円となりました。

なお、当社グループはカスタマーソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は993,783千円となり、前連結会計年度末に比べ314,483千円増加いたしました。これは主に公募増資及び第三者割当増資の実施に伴い、現金及び預金が321,389千円増加したことによるものであります。固定資産は141,340千円となり、前連結会計年度末に比べ11,754千円増加いたしました。これは主に福岡センター増床に伴い、工具、器具及び備品が4,162千円、差入保証金が7,962千円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、総資産は1,135,123千円となり、前連結会計年度末に比べ326,237千円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は417,466千円となり、前連結会計年度末に比べ12,704千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が15,984千円増加したものの、未払法人税等が21,568千円減少したことによります。固定負債は124,966千円となり、前連結会計年度末に比べ27,062千円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計は542,433千円となり、前連結会計年度末に比べ14,358千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は592,690千円となり、前連結会計年度末に比べ311,879千円増加いたしました。これは主に公募増資及び第三者割当増資の実施に伴い、資本金が153,018千円、資本剰余金が153,018千円それぞれ増加したことによります。

この結果、自己資本比率は52.2%（前連結会計年度末は34.7%）となりました。

### (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ321,389千円増加し、当第2四半期連結会計年度末には670,561千円となりました。

当第2四半期連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業キャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は180千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益13,131千円、売上債権の減少額11,179千円、法人税等の支払額27,745千円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は13,134千円となりました。これは主にPCの新規購入に伴う有形固定資産の取得による支出4,044千円、福岡センター増床に伴う差入保証金の差入による支出9,089千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は334,153千円となりました。これは主に公募増資及び第三者割当増資に伴う株式の発行による収入306,037千円、上場関連費用の支出9,208千円長期借入れによる収入80,000千円、長期借入金返済による支出38,500千円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

5月25日をもって日本国内における緊急事態宣言は解除され、経済活動は徐々に再開しておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の第2波への警戒が高まっており、外出自粛要請の長期化が予測されております。外出自粛要請の終了時期及び新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは困難であることから、修正後の2020年12月期連結業績予想においては、2020年12月末日まで引き続き外出自粛を要する社会情勢が続くものと仮定しております。当社では、外出自粛に対応したオンライン商談の推奨やオンラインでのウェビナー開催等の施策を既実施しておりますが、一定数存在する対面での商談による新規商談機会の減少や既存取引先からの追加受注機会の減少が発生するものと見込んでおります。また、国内経済の見通しの不透明さから、企業における外注費の抑制や見直しの動きが加速しており、短期的に取引の解約や縮小等の影響が発生するものと予想しております。

市場環境においては、当社グループの提供するカスタマーリレーション事業の主要顧客産業であるゲームアプリ市場やソーシャルメディア市場が外出自粛による巣ごもり消費により盛り上がりを見せている一方で、外出自粛の影響を受け国内小売市場、イベント市場等が落ち込んでおり、一部取引先の売上が減少傾向にあります。一方で、当社グループの注力産業であるシェアリングエコノミー市場やFinTech市場においては需要が拡大しており、売上は増加傾向にあります。

上記の社会情勢、市場環境および足元の業績推移をふまえ、当期の連結業績予想につきましては、以下に記載の下期6ヶ月分の仮定条件に基づく影響額を試算し、当初の業績予想に対し上期は実績を反映、下期は当該影響額を加味する方法で算出いたしました。

(1) 売上高

下期6ヶ月において月額約30百万円、通期347百万円の減少が発生すると見込んでおります。これにより、2020年12月期の売上高は2,800百万円（前年同期比12.0%増）、主要サービス別売上高につきましては、ソーシャルアプリサポートにおいて1,302百万円（前年同期比10.9%増）、インターネットモニタリングにおいて1,024百万円（前年同期比12.4%増）となる見込みです。

(2) 営業費用

下期6ヶ月の売上高減少に伴う売上原価の減少に加え、各サービスにおける外注費の見直し等の経費削減を実施し、通期211百万円を削減する予定です。人員計画につきましては、当事業年度において約90人の増員を予定しておりましたが、約30人の増員といたしました。これにより、売上原価に占める労務費は当初見込みの1,660百万円に対して1,405百万円、販売費及び一般管理費に占める人件費は当初見込みの511百万円に対し532百万円となる見込みです。なお、中長期的な競争力及び成長性確保の観点より、効率化や自動化への研究開発費及び新規事業開発は継続して積極投資することとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	349,171	670,561
受取手形及び売掛金	293,345	282,222
仕掛品	3,400	295
貯蔵品	1,076	1,337
その他	32,305	39,793
貸倒引当金	—	△426
流動資産合計	679,299	993,783
固定資産		
有形固定資産	38,394	44,172
無形固定資産	2,347	1,440
投資その他の資産		
差入保証金	81,050	89,013
その他	9,192	6,714
貸倒引当金	△1,398	—
投資その他の資産合計	88,843	95,727
固定資産合計	129,586	141,340
資産合計	808,885	1,135,123
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	21,985	27,502
短期借入金	4,000	—
1年内返済予定の長期借入金	63,680	79,664
未払法人税等	36,012	14,444
未払費用	166,748	162,252
その他	137,744	133,604
流動負債合計	430,171	417,466
固定負債		
長期借入金	82,030	107,546
退職給付に係る負債	2,466	4,400
その他	13,407	13,020
固定負債合計	97,903	124,966
負債合計	528,075	542,433
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	80,000	233,018
資本剰余金	104,948	257,966
利益剰余金	98,239	104,116
自己株式	—	△174
株主資本合計	283,187	594,926
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,377	△2,236
その他の包括利益累計額合計	△2,377	△2,236
純資産合計	280,810	592,690
負債純資産合計	808,885	1,135,123

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,373,283
売上原価	907,714
売上総利益	465,568
販売費及び一般管理費	446,802
営業利益	18,766
営業外収益	
受取利息	47
受取賃貸料	7,320
その他	2,402
営業外収益合計	9,770
営業外費用	
支払利息	1,007
株式交付費	9,208
賃貸費用	3,505
その他	1,683
営業外費用合計	15,405
経常利益	13,131
税金等調整前四半期純利益	13,131
法人税、住民税及び事業税	6,174
法人税等調整額	1,079
法人税等合計	7,254
四半期純利益	5,876
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,876

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	5,876
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	140
その他の包括利益合計	140
四半期包括利益	6,017
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	6,017



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2020年1月1日  
至 2020年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	13,131
減価償却費	4,962
差入保証金償却額	1,142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△972
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,904
受取利息	△47
支払利息	1,007
為替差損益(△は益)	△49
上場関連費用	9,208
売上債権の増減額(△は増加)	11,179
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,842
仕入債務の増減額(△は減少)	5,516
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,812
未払金の増減額(△は減少)	5,272
未払費用の増減額(△は減少)	△4,522
前受金の増減額(△は減少)	5,508
その他	△18,440
小計	28,832
利息の受取額	47
利息の支払額	△954
法人税等の支払額	△27,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,044
差入保証金の差入による支出	△9,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,000
長期借入れによる収入	80,000
長期借入金の返済による支出	△38,500
株式の発行による収入	306,037
上場関連費用の支出	△9,208
自己株式の取得による支出	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	334,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	321,389
現金及び現金同等物の期首残高	349,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	670,561

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月26日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2020年3月25日を払込期日とする公募増資による新株式237,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ134,094千円増加しております。さらに、2020年4月24日に有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ16,974千円増加しております。また、新株予約権の行使が行われ、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,950千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が233,018千円、資本剰余金が257,966千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。